

塩竈市の取組紹介

アプローチカリキュラム P11～
スタートカリキュラム P14～

Q1 保幼小接続期カリキュラムの作成に取り組むきっかけは？

塩竈市教育委員会では、学力向上や不登校、小1プロブレムの教育課題の改善に向け保・幼・小・中の接続期の保育や教育に着目し、平成29年度から取組を始めました。

Q2 参考とした取組はあったのですか？

保育所と幼稚園のアプローチカリキュラムと小学校のスタートカリキュラムの作成に当たっては、文科省の指定を受けて先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考とし、塩竈市独自の工夫を加え、検討を重ねてカリキュラムを策定しました。

Q3 誰がどのようにしてカリキュラムを作っているのですか？

各小学校の代表1名ずつと幼稚園・保育所代表、市の健康福祉部の担当者等で作成委員会を年間4回開催し作成しています。

具体的な手順は、スタートカリキュラムを例にすると、

- ① 題材の一覧を作成（15P）
- ② 各小学校代表の作成委員で題材を分担し、A4版の活動案を作成（16P）
- ③ 接続期カリキュラム作成委員会を開催し、各委員が作成した活動案について検討
- ④ 検討を経た活動計画を集約して製本し、市内保育所（園）や幼稚園、小学校へ配布

Q4 活用に当たって配慮していることはどんなことですか？

市の担当者が幼児教育施設や小学校を訪問し、カリキュラムの活用の説明をしたり、改善点について把握したりするよう努めています。

Q5 取組の成果はいかがですか？

幼児や児童が安心して遊びや生活、学習に取り組む環境が整ったことで、よりよい成長をうながすことができた実感しています。学力向上や不登校問題、小1プロブレムの改善に手応えを感じています。

取組の時期や対象、内容等を示すことによって「いつ」「だれが」「どんなこと」をするのかについて説明しています。

塩竈市アプローチカリキュラムの活用にあたって

塩竈市教育委員会

1 活用のめやす 12月から翌年3月中～下旬

2 対 象 翌年4月に小学校に入学予定の幼児（5・6歳児）

3 内 容

- (1) 「生活」「遊び」「学び」「歌」「絵本の世界」の5つの内容から構成されています。
- (2) 「生活」「遊び」「学び」の内容は、これまでの各幼稚園・保育所（園）での生活や遊びの中で培われてきたものです。子どもたちが小学校生活に滑らかに移行できるように、入学までに意識して指導してください。
- (3) 目安として実施する月を示していますが、内容によっては、早い時期から指導を始めたり、繰り返し指導したりすることが効果的なものもあります。各幼稚園・保育所（園）の実態に応じて、柔軟に取り入れてください。
- (4) 「歌」「絵本の世界」は、幼児期に触れさせたい日本文化として、代表的な昔話や童謡、唱歌を紹介しました。折に触れ慣れ親しませてください。
- (5) カリキュラムの内容をすべて指導しなければならないというわけではありません。この内容と似ていることやアレンジしたこと、発展させたことを実践することで、活用の幅が広がります。実態に応じて、展開されることを期待いたします。

4 活 動 例

- (1) 1日の生活のどの場面で使えるか、そのチャンスを生かして実践してみてください。
- (2) 「歌」「絵本の世界」は、朝の挨拶の後や昼食の前（後）、お迎えを待つ時間帯などにも実践できます。
- (3) 曜日を決め、毎日この5つの内容の中の1つを実践したり、1日の生活時間帯に位置付け、1週間単位で実践したりするなど、いくつかの方法が考えられます。

カリキュラムの全体を示すことにより、見通しを持って準備ができます。また、特に意識して取り組みたい活動も把握しやすいように色分けしてあります。

塩竈市アプローチカリキュラム 目次

| 月 | 生活 | ページ | 遊び | ページ | 学び | ページ |
|----|--------------|-----|------------|-----|--------------|-----|
| 12 | 手洗い・うがいをしよう | 1 | とおりゃんせ | 5 | しりとり遊び | 9 |
| | 歯を磨こう | 2 | はないちもんめ | 6 | しりとりすごろく | 10 |
| | 衣服のきちんとした身支度 | 3 | あぶくたった | 7 | カレンダーってどんなもの | 11 |
| | 上手な顔洗い | 4 | おにごっこ | 8 | クレヨンのお散歩 | 12 |
| 1 | 持ち物の整理をしよう | 13 | 一本橋渡れ | 18 | いくつかな？ | 22 |
| | 靴の履き方・靴の揃え方 | 14 | あんたがたどこさ | 19 | 1分はどのくらい？ | 23 |
| | 挨拶の仕方 | 15 | 転がしドッジボール | 20 | すごろく遊び | 24 |
| | お箸の持ち方 | 16 | ドリブルシュート | 21 | 絵描き歌 | 25 |
| | お箸の使い方 | 17 | | | しりとり遊び | 26 |
| 2 | 生活のリズムを整えよう | 27 | 猛獣狩りに行こうよ | 31 | カルタ遊び | 35 |
| | 朝ご飯を食べよう | 28 | お一ちたおちた | 32 | 椅子の座り方 | 36 |
| | ごめんね、いいよ | 29 | 絵づくり | 33 | 伝言ゲーム | 37 |
| | おやつとり方 | 30 | じゃんけん列車 | 34 | 文字とりゲーム | 38 |
| | | | | | 時間について知ろう | 39 |
| 3 | 帰りの時間 | 40 | おしくらまんじゅう | 44 | 鉛筆のお散歩 | 48 |
| | 好き嫌いをしない | 41 | だるまさんが転んだ | 45 | 自分の名前を書こう① | 49 |
| | 規則正しい食事 | 42 | ハンカチ落とし | 46 | 自分の名前を書こう② | 50 |
| | トイレの使い方 | 43 | 遊びのルールを作ろう | 47 | | |

※ ■ は、小学校との滑らかな接続のために、ぜひ取り上げていただきたい項目です。

| | うた | | | | |
|----------|-------------|---|------------|----|-----------|
| 感性に働きかける | むすんで ひらいて | 1 | つき | 9 | 豆まき |
| | ことりの歌 | 2 | ゆりかごの歌 | 10 | ゆき |
| | ぞうさん | 3 | 犬のおまわりさん | 11 | 山びこごっこ |
| | 桃太郎 | 4 | やぎさんゆうびん | 12 | うれしい ひな祭り |
| | シャボン玉 | 5 | どじょっこ ふなっこ | 13 | 七つの子 |
| | 夕焼け小焼け | 6 | うさぎとかめ | 14 | おさるのかごや |
| | かわいい かくれんぼ | 7 | かたたたき | 15 | |
| | げんこつ山のたぬきさん | 8 | お正月 | 16 | |

※ うたの歌詞・楽譜は掲載しませんでした。

| | 絵本の世界 | | |
|---------|----------|----------|--------|
| 豊かな心を育む | ねずみのすもう | 花さかじいさん | きんたろう |
| | 一休さん | かぐや姫 | かさこじぞう |
| | さるかに合戦 | かもとりごんべい | 花さき山 |
| | 桃太郎 | つるのおんがえし | くもの糸 |
| | こぶとりじいさん | おむすびころりん | わらしべ長者 |

目次の中にある活動について詳しい流れを示すことで、幼児の活動や働きかけが分かりやすくなります。

学び

伝言ゲーム

2月

- ◎ ゲームを通して、聞いた話の内容を楽しく正しく伝える。(環境・表現・人間関係)
- 自分が聞いた話を、友達に伝えられた喜びを味わう。

| 子どもの活動 | 保育士・教師の働き掛け |
|--|------------------------------|
| 1 場面設定を知る。 「これから宝島に宝探し (より身近でイメージ) | ○ 場面設定は、子どもたちの実態や状況に応じて工夫する。 |

- 2 いくつかのチームに分か
【伝言ゲームのルール】
周りに聞こえないよ
・ 耳元で
・ 小さな声でささや
・ 最後まではっきり
- 1番目の子どもは保育
みんなの前で発表する。
- 3 1回目のゲームをする。
(ア) 伝言内容を知る。
(イ) チーム内で伝える
(ウ) 最後の子どもは、
(エ) 全員の発表が終
を発表する。
- 例)「明日、宝島へ探検に
ないでね」
- 4 全部覚えるにはどうすか
- 5 チーム内の並び順を替
例)「8時に保育所の園庭
て来てね」
- 6 感想を発表する。

学び

カレンダーってどんなもの

12月

- ◎ カレンダーを見て楽しみながら、数の並びや曜日の並びに目を向ける。(言葉・環境・表現)
- 数字や曜日に関心を持つ。

※ 新しい年を迎えるに際し、新しいカレンダーに関心を持たせる。

| 子どもの活動 | 保育士・教師の働き掛け | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|--|
| 1 新しいカレンダーを見て、改 めてどんなものか知る。 | ○ 新しいカレンダーを見せる。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 12月のカレンダーを見て、 1月は何日から始まるのか、理 由を知る。 | ○ あらかじめ、1～31までの数字カード、曜日カード(貼り付け用)を用意して おく。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 【例】 | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>日曜日</th> <th>月曜日</th> <th>火曜日</th> <th>水曜日</th> <th>木曜日</th> <th>金曜日</th> <th>土曜日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30日</td> <td>31日</td> <td>1日</td> <td>2日</td> <td>3日</td> <td>4日</td> <td>5日</td> </tr> </tbody> </table> | 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 30日 | 31日 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | ○ 12月31日と1月1日がつながっていることに気付かせるように、カレンダー の数字を並べる。 |
| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | | | | | | | | | |
| 30日 | 31日 | 1日 | 2日 | 3日 | 4日 | 5日 | | | | | | | | | |
| 3 1週間が7日間と意識させる ために、日曜日から土曜日まで を用紙の上に置かせ、確認し、 貼る。 | ○ 楽しかった1年間を思い出して、カレンダーをなぞり、「また新たな1年を楽しく 過ごそうね。」と言葉掛けをする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 日曜、月曜、火曜、水曜・・・ 1週間を理解し、始まりの「1」 を貼らせる。 | ○ 1週間が7日間であることに気付かせる。 ○ 「月火水木金土日のうた」を歌ってみるのも良い。 ♪月曜日 笑ってる・・・ ○ 出席ノートを活用するとよい。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 次の数字を正しく並べられた ら、順々に数字を貼る。 | ○ 数字は前の月の続きから始まることに気付かせる。 ○ 曜日の並びは変わらず、固定されるが、数字は続いていく。 ○ 週・月・年をまたぐという意味を知る。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | ○ 数字を貼り終わった子どもは、月にあった絵を描かせる。全て終了した子どもの 作品を掲示し、達成感を味わわせたり、作製意欲を高めたりする。 | | | | | | | | | | | | | | |

※ 子どもの実態によっては、活動
の1、2を軽めに扱うのもよ
い。その際、「カレンダーマー
チ」の歌を歌うのもよい。



小学校で日常的に活用されている週案の様式で1～4週目まで作成しています。

塩竈スタートカリキュラム 小学1年生4月週案モデル

| 第4週のテーマ：いよいよ時間割が始まるよ!～宿題も頑張ります～ | | | | | |
|---------------------------------|--|--------------------------|---------------------------|-------|-------|
| 日 | 4月30日 | 5月1日 | 5月2日 | 5月3日 | 5月4日 |
| 曜 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 行事 | 家庭訪問 | 家庭訪問, 4校時限 交通安全教室 | 家庭訪問 | 憲法記念日 | みどりの日 |
| 1 | ならびっこ・かけっこ 様々な並び方ゲームと並 んだ順でか る。 | 好きなものはなに? 好きなものの絵を書いて | ならびっこ・かけっこ 様々な並び方ゲームと並 | | |

塩竈スタートカリキュラム 小学1年生4月週案モデル

自校化の参考に
してください。

| 第1週のテーマ：初めまして、小学校! | | | | | |
|--------------------|-------|---|--|--|---|
| 日 | 4月8日 | 4月9日 | 4月10日 | 4月11日 | 4月12日 |
| 曜 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 行事 | 入学式 | 3校時限 | 3校時限 | 3校時限 | 4校時限 |
| 1 | | 初めての学級 学校, 教師の名前, 自分 の座席などを覚える。 | 元気に挨拶 挨拶や返事, 健康観察の 仕方を覚える。 | 楽しく歌おう 幼稚園や保育所で歌った 歌でリズム体操などを 行う。 | 自己紹介をしよう 自分の名前と好きなもの などをみんなに紹介す る。 |
| 2 | | 使い方を 靴箱, トイレ, 連絡袋な どの使い方を覚える。 | 使い方を 机や椅子, 引き出し, ロッカーなどの使い方を 覚える。 | 好きな遊 幼稚園や保育所で行って いた遊びを行う。 | 名刺を作 自分の名前や好きなもの を書いて名刺を作る。 |
| 3 | | 簡易給食 手を洗っていただきます 下校指導 同じコースで自己紹介 | 簡易給食 いただきます 下校指導 安全な下校の仕方 | 簡易給食 いただきます 下校指導 安全な下校の仕方 | 好きな遊 校庭の遊具の使い方を知 り, 楽しく遊ぶ。 |
| 4 | | 生活0.5 学活0.5 | 生活0.5 学活0.5 | 体育0.5 音楽0.5 | 生活0.5 国語0.5 |
| 5 | | 国語0.5 学活0.5 | 国語0.5 学活0.5 | 国語0.5 学活0.5 | 生活1 |
| 給食 | | | | | いただきます |
| 清掃 | | | | | |
| 下校 | 14:45 | 11:30 下校指導 | 11:30 下校指導 | 11:30 下校指導 | 13:15 下校指導 |

- 【1週目の留意事項】
- 一人一人が安心感を持ち, 新しい人間関係を築いていくことをねらいとした時間を中心に指導する。
 - 子どもがほっとする時間や空間を意図的に設ける。
 - 学校生活の中で, 絶対必要な場所やルール, 危険な場所, 安全な遊び方を教える。(トイレ, 水道, 個人の机, ロッカー, 靴箱, 物掛け, 傘立て, 校庭への行き方, 遊具の安全な遊び方など)
 - 子どもの興味や困り感を引き出す声掛けや環境構成を通して, 子どもたちが「自分たちがしたいからしている」と思える流れを作る。子どもの主体性や意欲, 自発性を大切に指導を行う。「園ではどうしてた?」「どうしたらいいと思う?」などと問いかけ, 子ども自身が考える場を作り, 子どもの出方を待つことを心掛ける。

カリキュラムの全体を示すことにより、見通しを持って準備ができます。また、特に意識して取り組みたい活動も把握しやすいように色分けしてあります。

塩竈市スタートカリキュラム 目次

| No. | 題 材 | 内 容 | No. | 題 材 | 内 容 |
|-----|-----------------|-----|-----|------------------|-----|
| 1 | 呼ばれたら「はい」とお返事 | 学習 | 19 | 避難訓練の前に | 学習 |
| 2 | いろいろな挨拶 | 生活 | 20 | 筆箱の中身 | 学習 |
| 3 | 学習道具の出し方・しまい方 | 学習 | 21 | 言葉遣い | 学習 |
| 4 | 廊下・階段の歩き方 | 生活 | 22 | 発表の仕方と声の大きさ | 学習 |
| 5 | 靴の揃え方・傘の置き方 | 生活 | 23 | ありがとう ごめんなさい | 生活 |
| 6 | 上靴の履き方 | 生活 | 24 | 水道の使い方 | 生活 |
| 7 | トイレの使い方 | 生活 | 25 | ハンカチ・ティッシュ・つめ | 生活 |
| 8 | 掃除の仕方 | 生活 | 26 | ぞうきん・ほうき・バケツ ① | 生活 |
| 9 | 話の聞き方・並び方 | 学習 | 27 | ぞうきん・ほうき・バケツ ② | 生活 |
| 10 | 学習のいろは | 学習 | 28 | いろいろな結び方 | 生活 |
| 11 | 給食の準備・食事・片付け | 生活 | 29 | 休み時間の過ごし方 | 生活 |
| 12 | 着替えと片付け | 生活 | 30 | 友達をつくろう ①・名刺交換 | 学習 |
| 13 | プリントのしまい方 | 生活 | 31 | 友達をつくろう ②・一緒に遊ぼう | 学習 |
| 14 | 鉛筆の持ち方 | 学習 | 32 | 友達をつくろう ③・ごめんね | 学習 |
| 15 | ならびっこ | 学習 | 33 | 友達をつくろう ④・また今度ね | 学習 |
| 16 | 遊具遊び | 生活 | 34 | 友達をつくろう ⑤・お助けマン | 学習 |
| 17 | 下校班の並び方 | 生活 | 35 | みんなが集まる場所は、シーン | 学習 |
| 18 | 下校の歩き方・横断歩道の渡り方 | 生活 | | | |

- 本カリキュラムは、幼稚園・保育所（園）と小学校との滑らかな接続を目的として、小学校生活を始めるに当たって、ぜひ身に付けさせたい内容を示しています。
- 各校の実態に応じて、内容をアレンジしてご指導ください。
- 一つの項目を必ず1単位時間で指導するものではありません。内容によっては、数回に分けて指導した方がよいものがあります。入門期の児童は、短時間の指導を繰り返し行った方が効果的な場合が多いことに留意して活用してください。

目次の中にある活動について詳しい流れを示すことで、児童の活動や働きかけが分かりやすくなります。

33 友達をつくろう④・また今度ね

友達に誘われたときに、上手に断る方法について理解する。

| 子どもの姿・活動内容 | 教師の関わり |
|--------------------------|--|
| 1 教師の話の聞き、どうしたらよいのかを考える。 | ① 友達に「家に帰ったら、遊ぼう。」と誘われたが、今日はおばあちゃんの家に行くことになっているので遊べない。 |

- ・ 断る。
- ・ 「今日のはだめ」と言う。
- ・ 「少しならいいよ」と言う。
- ・ 「いいよ」と言う。
- ・ お母さんに断ってもらう。

2 自分の気持ちをはっきり伝えるにはどう言うのがよいのか、どのように断ると、友達に嫌な感じを与えないかを考える。

3 二人組になり、「断り方」を実際にやってみる。

4 どんな気持ちだったかを話し合う。

28 いろいろな結び方

自分の身の回りでひも結びのあるものを見付け、その結び方ができる。

| 子どもの姿・活動内容 | 教師の関わり |
|---|---|
| 1 ひもで靴ひもやリボンを結んだことがあるか振り返る。 ・ 靴ひも ・ プレゼントのリボン ・ その他 | ○学校生活で活用の頻度が高い靴ひもと鉢巻を取り上げ、できるようにさせたい。 |
| 2 ひもなどがほどこけないように上手に結ぶ練習をする。 (1) 固結び (2) 片リボン結び (3) リボン結び | ○はちまきを一人1本ずつ配る。この鉢巻で3種類の結び方を練習する。 【固結びの仕方の例】 ① 椅子の横の部分を使う。 ② 鉢巻を横にぐるっと回す。 ③ 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ④ ねじれをよく見ながら、同じように結ぶ。 *何度か練習する。 【片リボン結びの仕方の例】 ① 椅子の横に鉢巻を巻き付ける。 ② 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ③ ねじれをよく見ながら、片方に輪（うさぎさんの耳を作る）その輪の周りをぐるりと通し、引き抜いて結ぶ。 【リボン結びの仕方の例】 ① 椅子の横に鉢巻を巻き付ける。 ② 片方の鉢巻の下からもう片方の鉢巻を通し、強く引く。 ③ ねじれをよく見ながら、片方に輪を作り、その輪の周りをぐるりと通し、引き抜く時に同じように輪を作り引いて結ぶ。 (例 いすの他にもいろいろ考えられる。) |
| 3 結ぶ練習をする。 | * 1回では難しいが、何回か練習していくうちにできるようになる。ほどこときは片方を引っ張ると、簡単にほどこけることも教える。 |
| 4 縄跳びのひもを束ねて結ぶ。 | 【跳び縄の束ね方】 ① なわを両手で持って輪っかを作りながら、端っこを上の方で交差させる。 ② 交差した端っこのどちらかを輪っかに入れる。 ③ 『うさぎの顔を作って耳を顔(輪っか)に通す』と教える。 * 手で持った状態で結ぶことが困難な場合は、床に置いて結び方を教える。 |

